



# 最近の県内経済情勢

令和7年7月29日

財務省関東財務局

前橋財務事務所

問い合わせ先  
前橋財務事務所 財務課  
電話 027-896-2908(直通)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回(7年4月判断)	今回(7年7月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

(注)7年7月判断は、前回7年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回(7年4月判断)	今回(7年7月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	→
設備投資	6年度は増加見込みとなっている	7年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	6年度は減益見込みとなっている	7年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が縮小している	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

#### 【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気の持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。また、宿泊・観光は持ち直している。

しかしながら、ホームセンター販売額は前年を下回っている。全体としては、緩やかに回復しつつある。

## (主なヒアリング結果)

- 物産展などの食品催事は好調だったものの、気温が例年より低く推移したことから、婦人服など夏物衣料の動きが鈍く、売上げは伸び悩んでいる。(百貨店・スーパー)
- 商品価格の上昇に伴い客単価・一品単価は上昇。一人当たりの買上げ点数が減少するなど節約志向が垣間見えるものの、客数は増加しており、売上高は対前年比で増加。(百貨店・スーパー)
- 気温の上昇に伴いエアコンなどの季節家電や、OS のサポート終了前の買い替え需要などによりパソコンの販売が好調。(家電量販店)
- 新型車が人気のため受注は好調だが、メーカーの生産体制が追い付いていないことから納期が長期化しており、新車登録には結びついていない状況。(自動車販売)
- コメを始めとした原材料価格の上昇に伴い4月に値上げを実施したものの、販売数量は増加しており、客単価も上昇。売上げも対前年を上回っており好調。(飲食サービス)

## ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産活動は、業種別にみると、輸送機械、食料品は減少しているものの、化学、汎用機械・生産用機械・業務用機械は増加しており、全体としては、持ち直しつつある。

- 主要な取引先である自動車メーカーの米国販売が好調なことから、工場稼働率は高い水準で推移している。一方、米国子会社向けの輸出について、関税の影響から現地調達を増やしているため減少している。(輸送機械)
- 生産については、取引先の経営状況や、中国における日系自動車メーカーの販売不振などにより減少傾向となっている。(輸送機械)
- 半導体向けは緩やかに回復し順調に推移している。特にAI やデータセンター用の先端品でメモリ系が好調。(化学)
- 米国向けを中心に足下の生産は堅調。一方、米国関税の動きが未定となっている中、取引先から発注を躊躇する動きがみられており、今後における売上げの減少を懸念。(生産用機械)
- 新製品が多く発売され、生産数量は対前期比、前年比でいずれも4割ほど増加している。(業務用機械)

## ■ 雇用情勢 「足踏みの状況にある」

新規求人数は減少しており、有効求人倍率は低下している。雇用情勢は足踏みの状況にある。

- 人手不足が継続する中、スキマバイトサービスの活用を拡大している。また、他社が実施している人材確保の取組のうち、当社が未実施のものは積極的に取り入れていく。(小売(スーパー))
- 生産現場の人手が特に不足しており、残業や休日出勤のほか、管理部門からの応援により対応。(製造(輸送機械))
- 中小企業を中心に人件費などの負担が増加しているため求人数を減らす動きがみられる。また、物価高騰による先行き不安などから離職や転職の動きが鈍化し、求職者数も減少している。(行政機関)

## ■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期

- 製造業では前年比154.6%の増加見込み、非製造業では同7.7%の減少見込みとなっており、全規模・全産業では同74.5%の増加見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期

- 製造業では前年比23.0%の減益見込み、非製造業では同11.2%の増益見込みとなっており、全規模では同3.1%の減益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年4-6月期

- 先行きについては、7年7~9月期に「下降」超幅が縮小し、7年10~12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、分譲、貸家いずれも前年を下回っており、全体でも前年を下回っている。

- 住宅ローン金利が上昇しているほか、物価の高騰が継続していることから新築住宅の受注は厳しい状況。また、米国関税の影響により、製造業の業績次第では購買層が減少することを懸念している。(住宅建設)

## ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、国、県、市町村いずれも前年を下回っているものの、全体では前年を上回っている。



# 最近の県内経済情勢

## (資料編)

令和7年7月29日

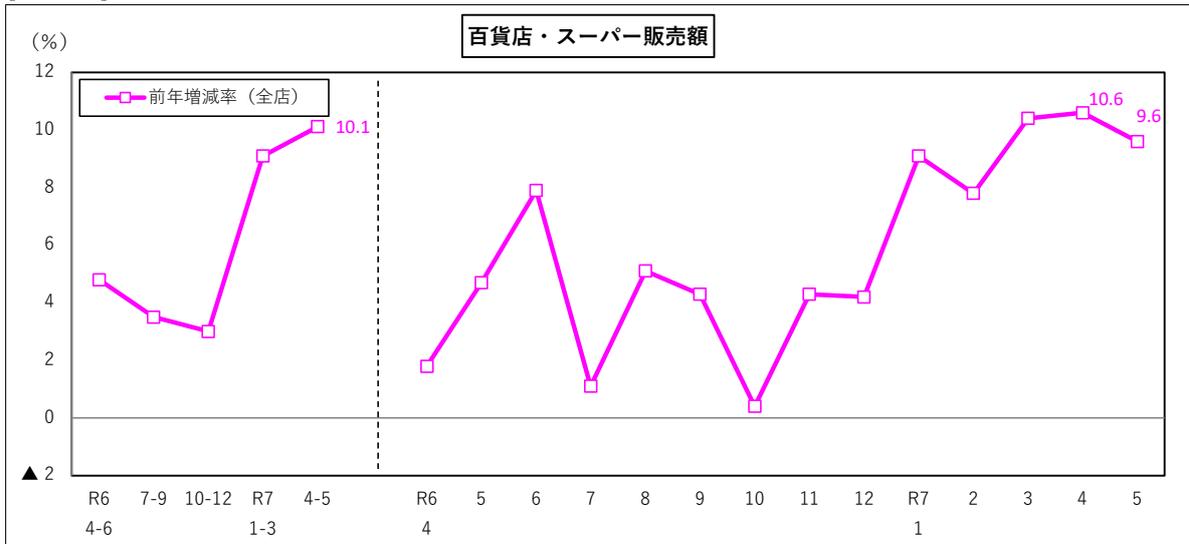
財務省関東財務局  
前橋財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

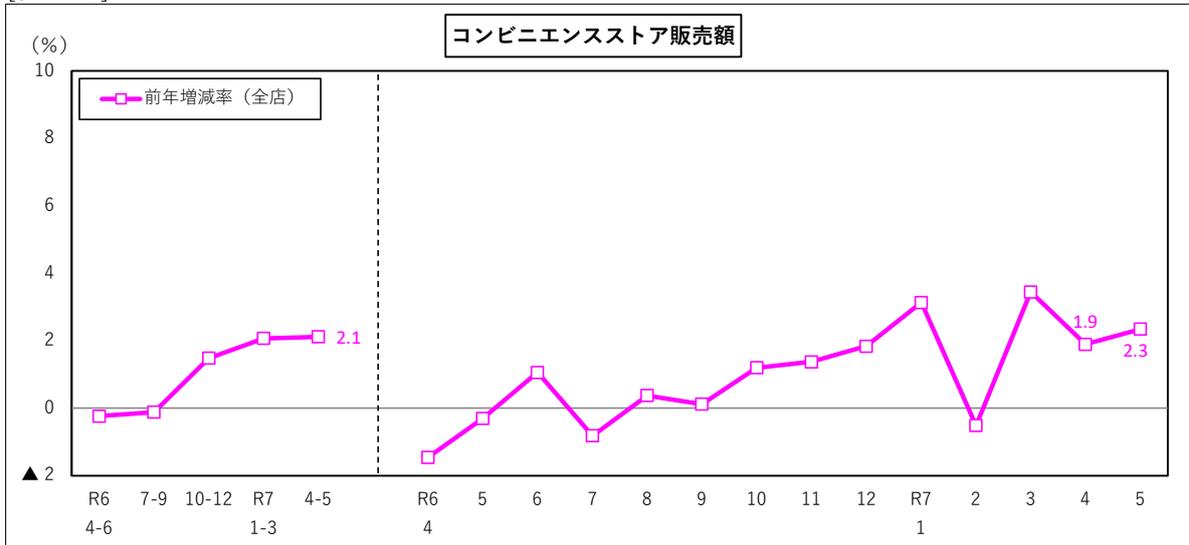
# 1.個人消費

## 緩やかに回復しつつある

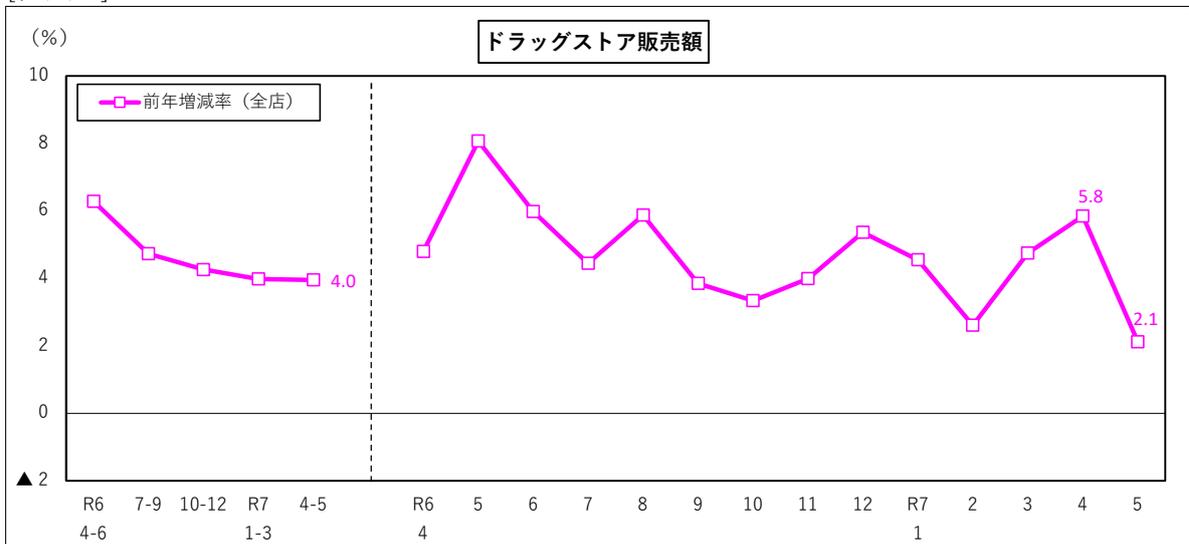
[グラフ1]



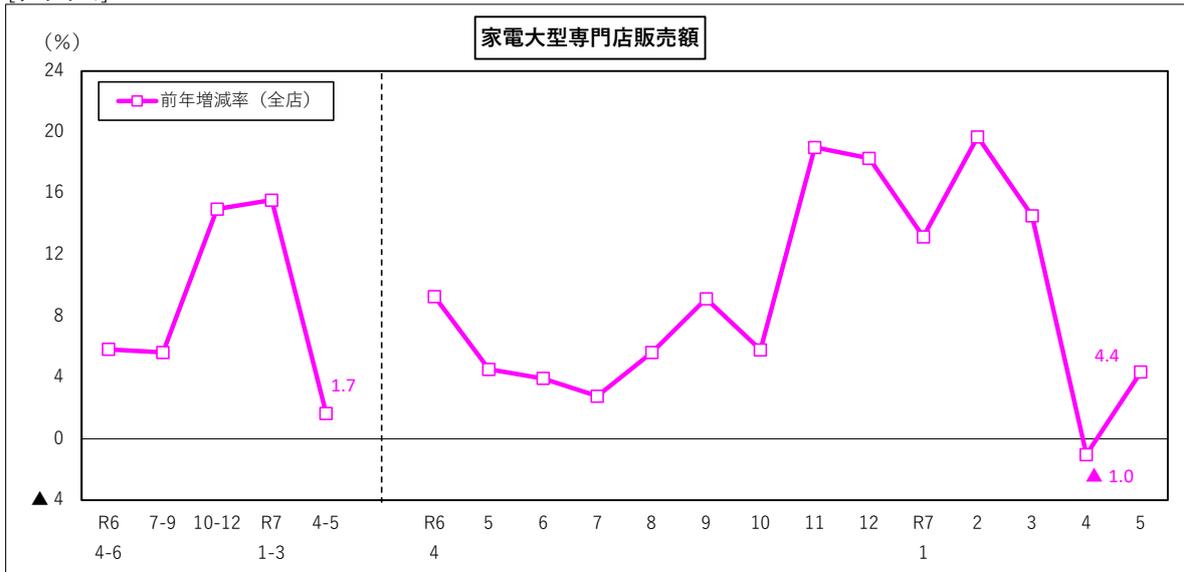
[グラフ2]



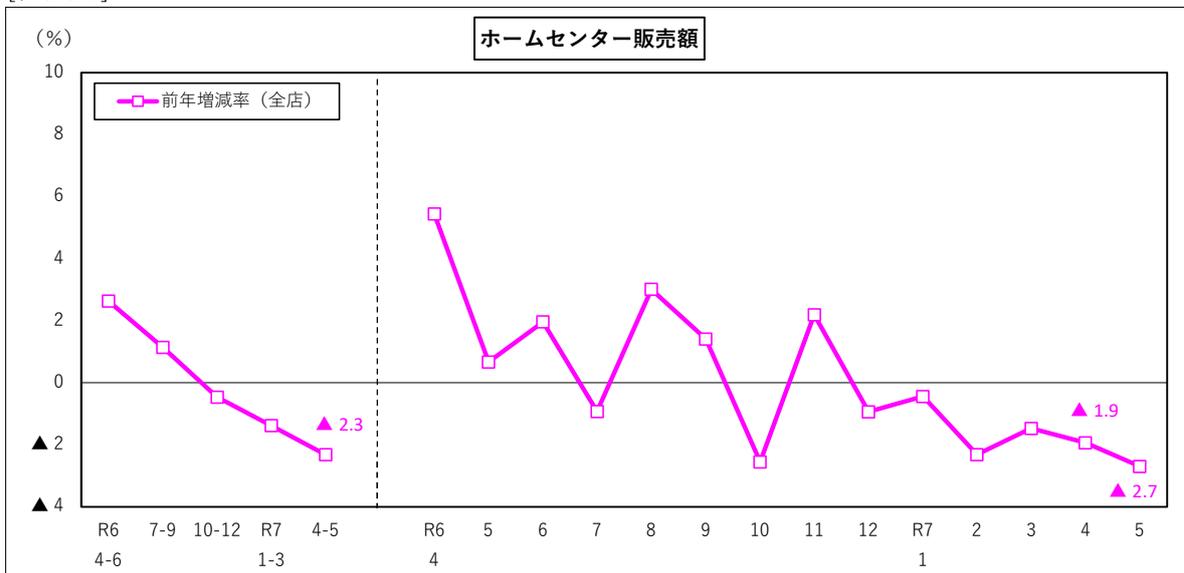
[グラフ3]



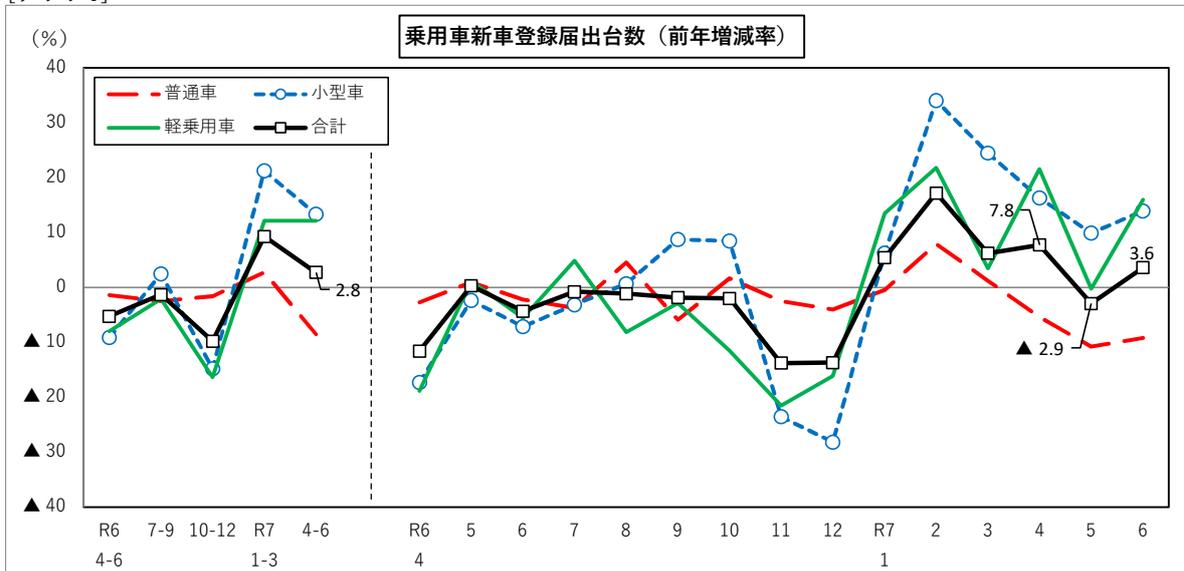
[グラフ4]



[グラフ5]



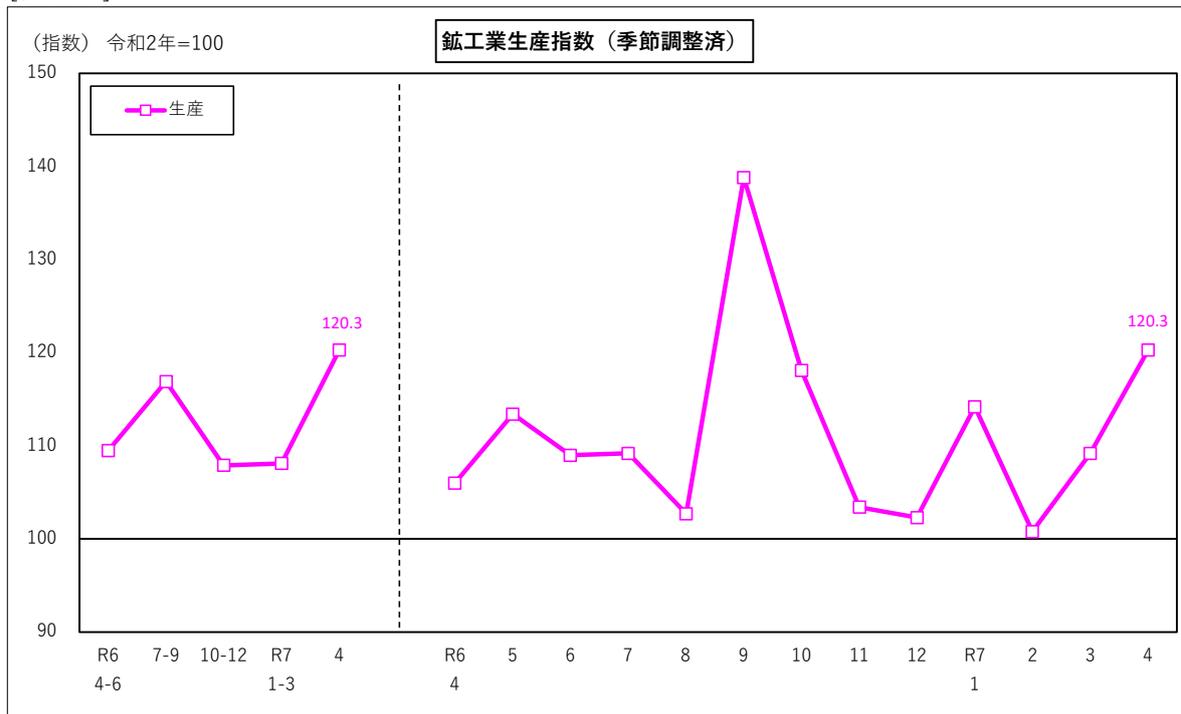
[グラフ6]



## 2.生産活動

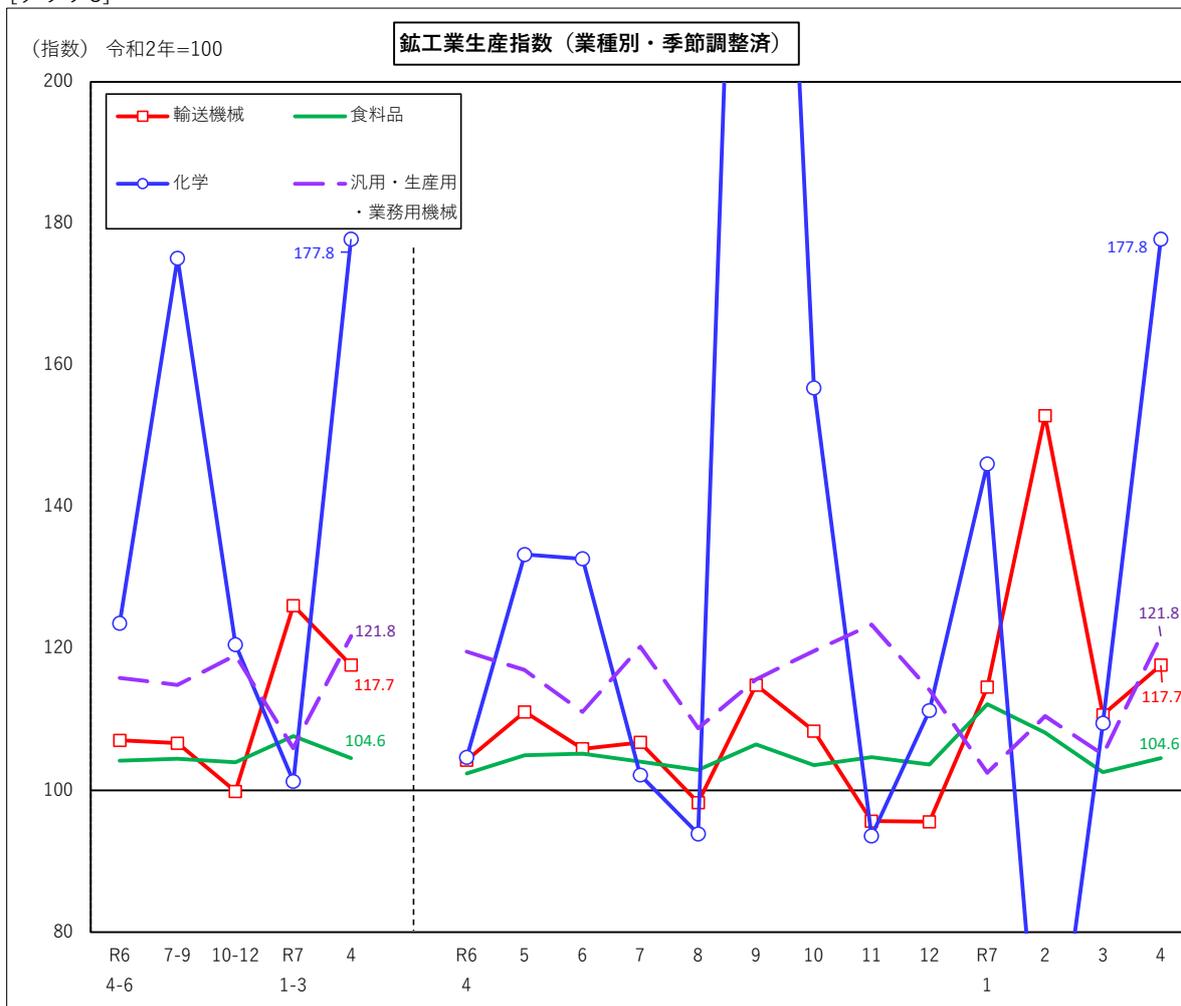
持ち直しつつある

[グラフ7]



【群馬県】

[グラフ8]

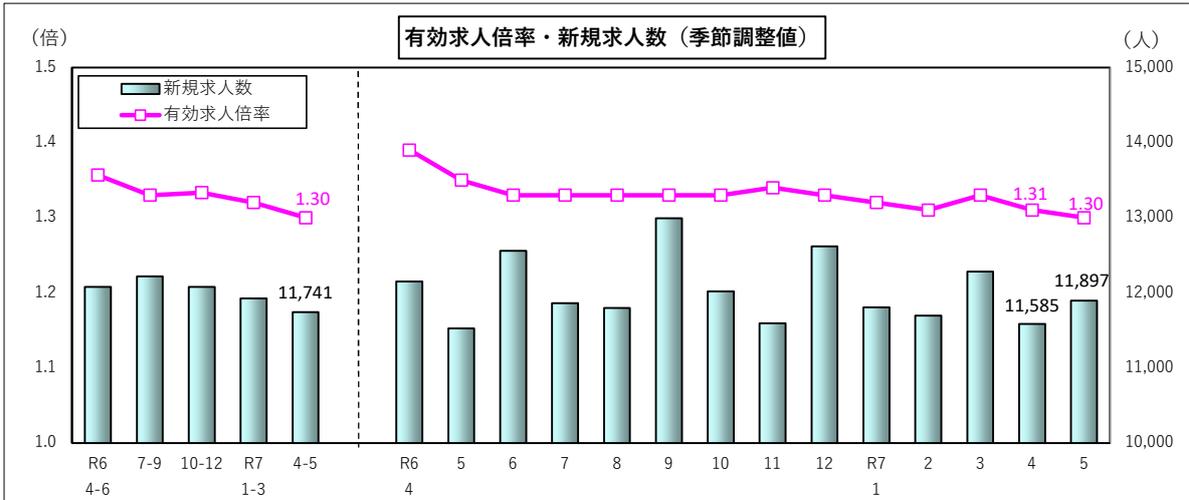


【群馬県】

### 3.雇用情勢

### 足踏みの状況にある

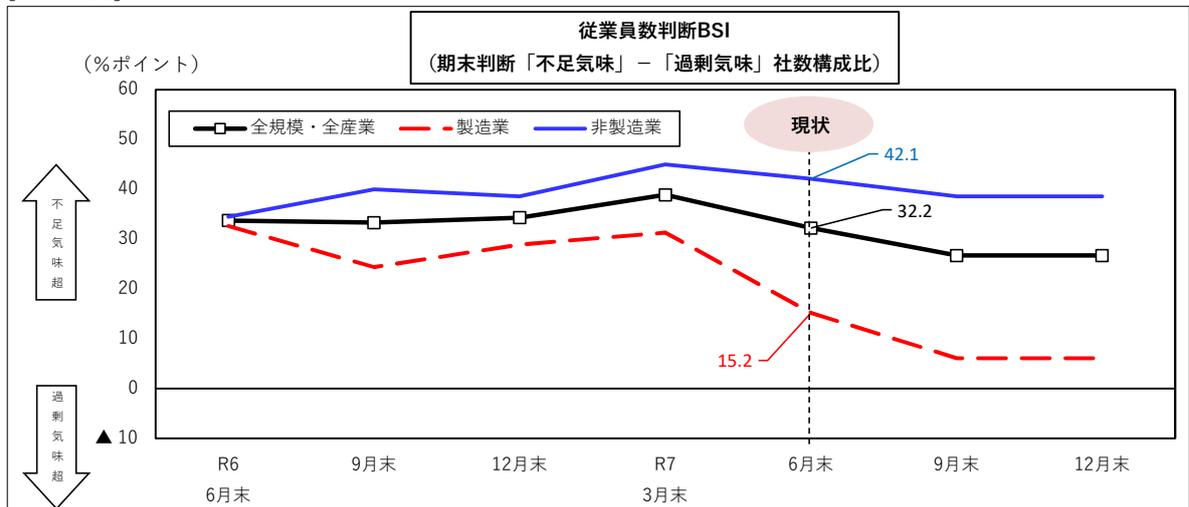
[グラフ9]



(注) 四半期の新規求人数は月当たりの平均。

【厚生労働省】

[グラフ10]

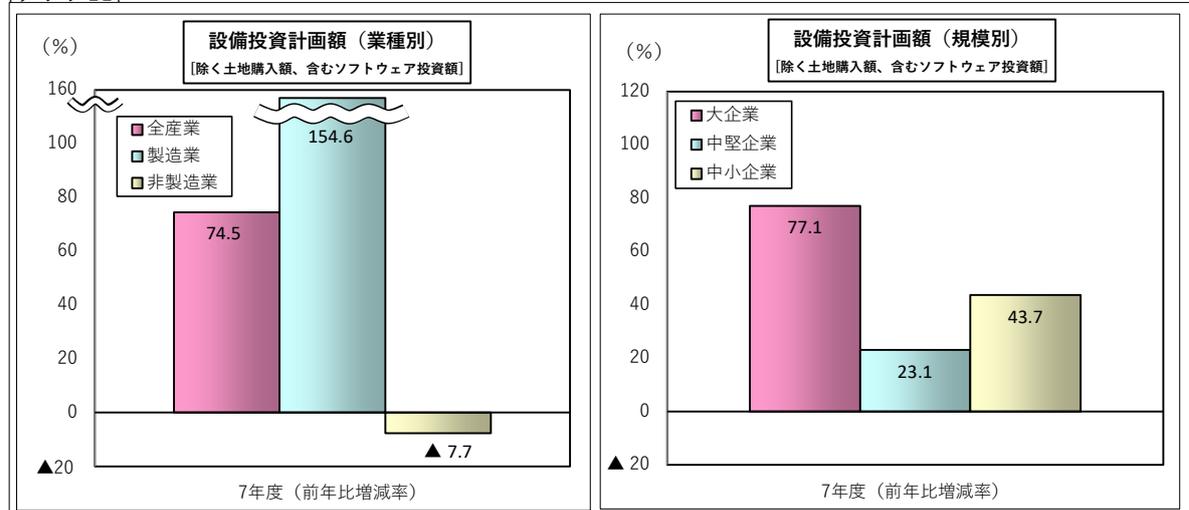


【前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)】

### 4.設備投資

### 7年度は増加見込みとなっている

[グラフ11]

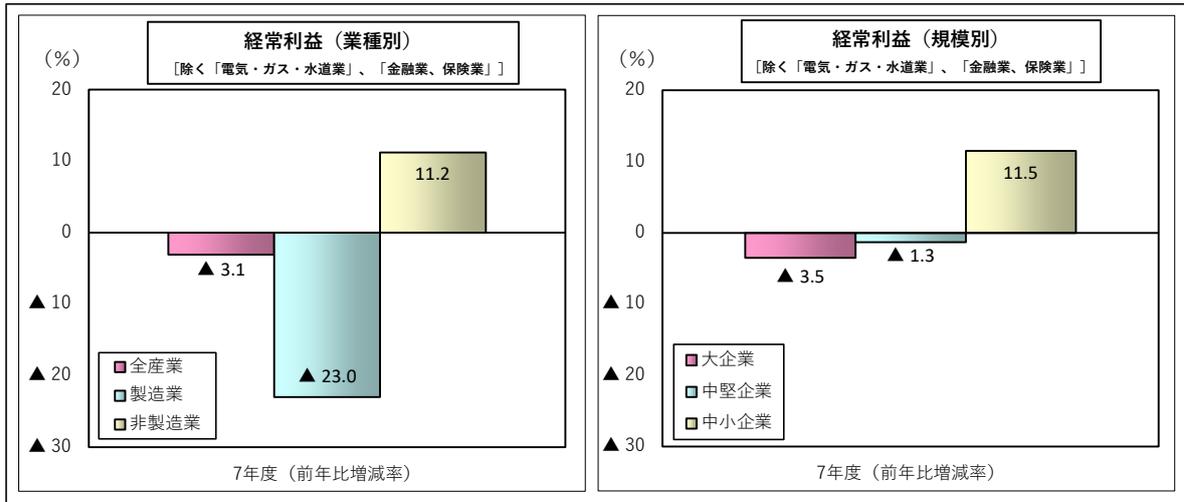


【前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)】

## 5.企業収益

7年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]

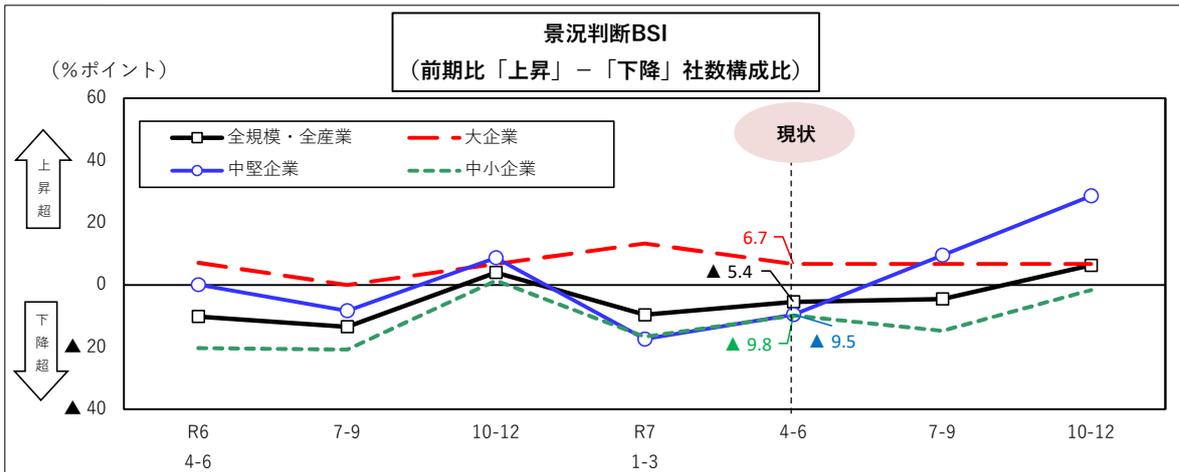


【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

## 6.企業の景況感

「下降」超幅が縮小している

[グラフ13]

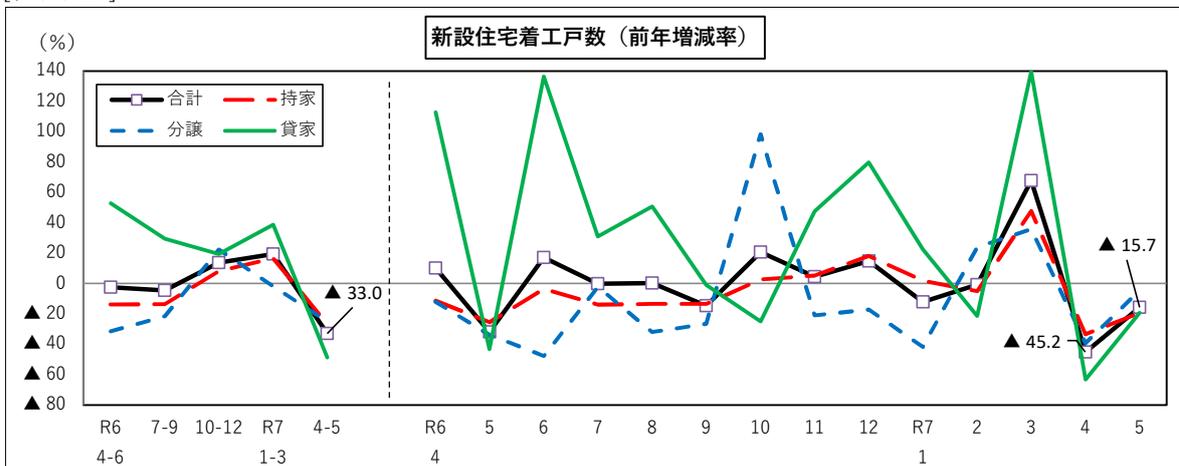


【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

## 7.住宅建設

前年を下回っている

[グラフ14]



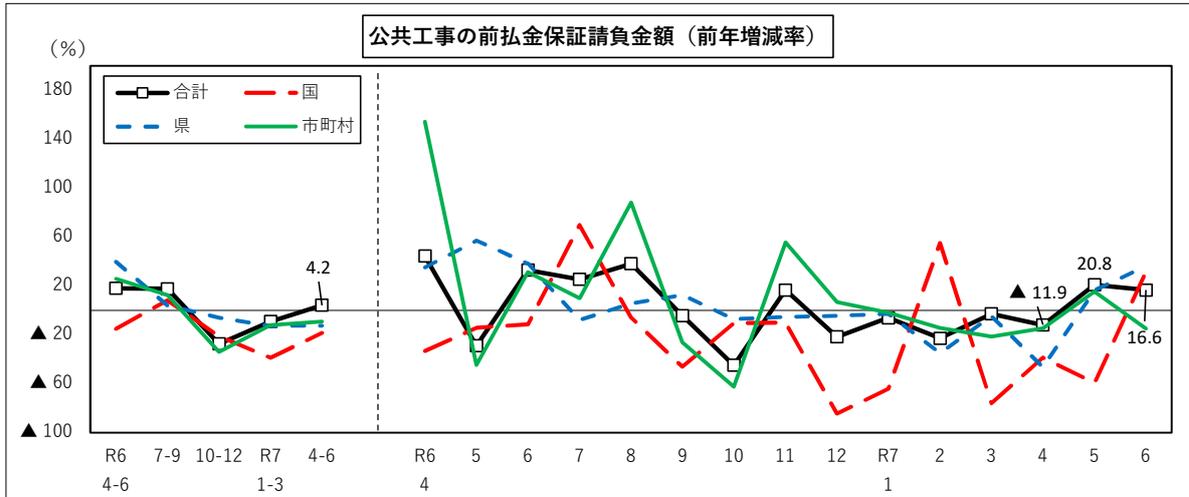
(注) 合計には給与住宅を含んでいる。

【国土交通省】

## 8.公共事業

前年を上回っている

[グラフ15]

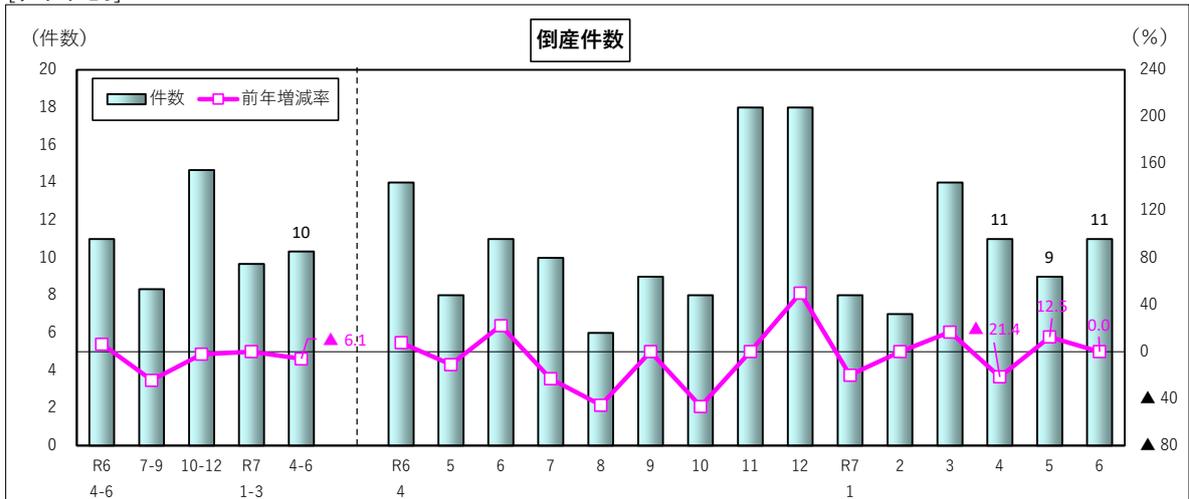


【東日本建設業保証株式会社ほか】

## 9.企業倒産

負債総額は前年を下回っている

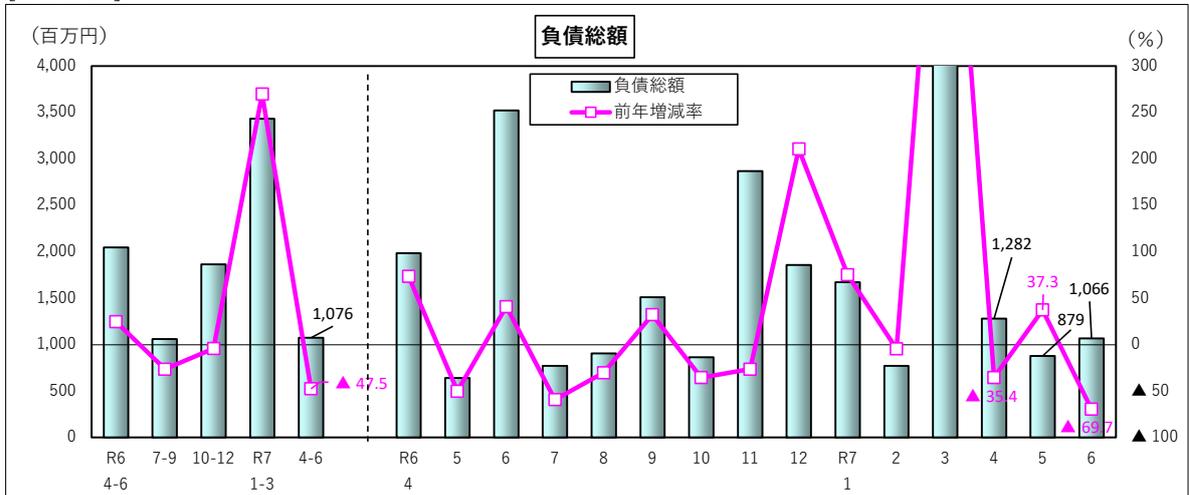
[グラフ16]



(注) 調査対象は負債額1,000万円以上。四半期の件数は月当たりの平均。

【(株)東京商工リサーチ前橋支店】

[グラフ17]



(注) 調査対象は負債額1,000万円以上。四半期の負債総額は月当たりの平均。

【(株)東京商工リサーチ前橋支店】